

平成29年9月1日
西部農林振興センター県央事務所 農業普及部

標 題 消費者に信頼される直売所を目指して～産直GAPセミナー開催～

(ダイジェスト)

8月29日、川本合同庁舎にて、邑智郡管内の農産物直売所出荷者を対象とした産直GAPセミナーを開催。出荷者、産直運営者、関係機関総勢45名が参加。GAP導入の必要性、消費者に信頼・支持される直売所のあり方を学んだ。

消費者の「食の安全・安心」に応え、生産者自身の「労働安全」も考慮し、持続的な農業生産を行うため、直売所におけるGAP導入（生産工程管理）が求められています。

しかし、管内の直売所の多くは、高齢の小規模生産者が多いことからGAPに対する理解が進んでいないことが課題となっています。

このため、直売所出荷者を対象に、GAPの基礎知識や実践活動事例からその手法を学ぶセミナーを開催しました。

セミナーでは、県農産園芸課食の安全推進室から「産直GAP」の基礎について、事例を交えた情報提供の後、茨城県つくば市にある「みずほの村市場」の生産研究部長高橋広樹氏から「消費者に信頼される農産物直売所と後継者育成を目指して」と題して、講演をしていただきました。

講師から、「原価計算」に基づく品質に見合った「適正価格」の販売理念や消費者の安全安心のため、農薬・肥料等のリスクマネジメント手法、作物体分析等による本物の農作物提供を目指した取り組みを聞きました。

また、会場からは、GAP認証機関や認証経費など質問もあり、GAP制度等について関心の高さがうかがえました。

今後、普及部では、産直GAP導入モデルの設置や試行を通じ、出荷者のGAP理解と実践に向け支援していきたいと考えています。



みずほの村市場高橋氏の講演



熱心に聞き入る参加者